

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	ホースの巻き直し作業中、ホース金具が頭部に当たり負傷したもの
3. 体験した事例の中心的要素	ホースを延長する際、金具部分から約 50cm の離れた所を持ち、立った状態でホースを延長したため、金具部分が遠心力で跳ね上がり頭部を負傷したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	不注意及び怠惰、保安帽の未着用

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

.....

1. 発生日時	平成 19 年 12 月 8 日 午後 4 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：ホース乾燥施設付近
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	切り・こすれ
7. 事例体験時の活動	その他： []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：資機材の撤収作業中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[33]歳、 勤続年数[10]年、 現場経験年数[10] 年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
○当事者 B	年齢[35]歳、 勤続年数[13]年、 現場経験年数[13]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [機関員]
○当事者 C	年齢[21]歳、 勤続年数[3]年、 現場経験年数[3]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

1 1. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A・B・C が	乾燥したホースを二重巻きにしていたところ	
経過 2	B が	オス金具とメス金具が重なっているホースが	
経過 3		あったため巻き直すように指示したところ	
経過 4	A が	右手で金具から約 50cm 離れたホースを持ち、	
経過 5		左手でホースを支え立った状態で右手を	
経過 6		前方へ出しホース延長したところ	
経過 7	A が	オス金具が遠心力により右手を中心に回り	
経過 8		頭頂部に金具が接触し負傷したもの。	
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。個人装備が不適切だった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

事故後、基本に立ち戻り、安全管理員を付けてホースの担ぎ方から伸ばす要領まで反復して実施した。その際、町民への訓練指導も考慮し、初めての人にわかりやすく、何処に危険が潜んでいるかを注意し説明を加えながら説明を実施した。教えるという事により自分の欠けている部分を再認識した。

○装備・資機材の対策について

保安帽、安全靴着装を徹底することにより事故防止をはかる。

○活動環境の対策について

今後の事故防止の為、職員全員に周知した。

○指揮・情報伝達の対策について

